

西福寺寺報 **道** - michi -
2026 (令和8) 年 春永代経号

五劫思惟の始めから
「あなたは如来のひとり子です」
と拝んでくださっています。

(岡本法治)



浄土真宗本願寺派
(本山：西本願寺)

多聞山

西福寺

〒739-0152

東広島市八本松町吉川 153-2

TEL: 082-429-1038

FAX: 082-429-1398

仏教婦人会月例法話会
(お寄り講 13:30~15:00)

4月28日(火) 29日(水・祝)

仏教婦人会法座と併会

5月お休み

6月未定 (お世話：横野)

7月未定 (お世話：下野原)

お経会 (大人の寺子屋)
(毎月第3木曜日 13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む

4月16日

5月お休み

6月18日

7月16日

オアシス法話会
(毎月第4木曜日 13:30~15:00)

『仏さまの言葉を生きる』

4月お休み

5月14日 (第2木曜日)

6月25日

7月23日

土曜学校
(毎月第2土曜日 9:00~10:00)

4月11日

5月9日

6月13日

7月11日

8月22日 (第4土曜日)



(今回の法座)

春季永代経法座

4月 7日(火) 昼席 (13:00~15:30 ころ)

夜席 (19:30~21:00 ころ)

8日(水) 朝席 (09:00~11:30 ころ)

昼席 (13:00~15:30 ころ)

ご法話 医療と宗教の関わりの中で

徳永道隆さん (佐伯区三宅 延命寺)

講師



1967年生まれ。

延命寺住職として勤めつつ、広島市内3か所の病院で勤務しています。

YouTube でのお聴聞は、下のQRコードですぐにできます。

7日昼席



7日夜席



8日朝席



8日昼席



最初の
一歩

はじめての法座ガイド (初参拝の方へ)

- 服装自由・手ぶら OK (聖典/念珠/門徒式章があれば)
 - 1席のみ・途中入退堂 OK / イス席あり / 焼香は周りをみながらでも大丈夫
 - 配信の見方も含め、困ったらお気軽にお問い合わせください。
- ※お布施 (ご法礼) のお預けは任意です。

寺報を読み終わった後は、しまい込まないで、ご家族みなでご覧ください。子どもさん、お孫さん世帯など用に2部以上必要な方は、お知らせください。

お寺だより
法座

3月4・5日
春季彼岸会法座

【ご法話】「苦悩の有情を捨てずして」村上元さん（島根県津和野町 妙壽寺）

【おつとめ】〔3日昼〕『三奉請』『表白』『正信念仏偈』

〔3日夜〕『しんじんのうた』

〔4日朝〕『正信念仏偈』〔4日昼〕『正信念仏偈』

【参拝者】60名（4席のべ人数）

【仏教讃歌】「みほとけにいだかれて」

【ご法話】3日昼席ご法話の要約

〔ご讃嘆〕如来の作願をたずぬれば苦悩の凡夫をすてずして

回向を首としたまいて大悲心をば成就せり

〔正像末和讃〕三時讃

皆さまようこそのお運び

をとおして、親鸞聖人の浄土真宗を皆さんとともに喜ばせていただけるような2日間になればありがたいことです。

とです。

さつそくですが、お彼岸について世間一般では「先祖に手を合わせる」「墓参りをする」といった、亡くなった方のために何かをしてあげるものと思われている方が多いようです。お盆と似たイメージでお墓参りに行くのが今の日本の雰囲気ですが、そもそも仏教は誰のためにあるかというところ、今ここに生きていく私のためにある教えですよ。死という問題は、今ここに生きていく者の上にはしかありません。火がついているからこそ消える問題がある。死んだ人の上に死ぬ問題はないのです。道元禪師は「仏道を習うというは、自己を習うというなり」とおっしゃいました。仏教を学ぶとは、今ここに生きていく自分自身を知り、見つめていくこととです。





お彼岸というご縁は、生死の迷いを超えたさとりの世界である「彼岸」に対し、今、私たちがいる「此岸」があることを示しています。彼岸とは阿彌陀さまが建立してくださった極楽浄土のことです。3月の中日には太陽が真東から昇って真西に沈みますが、昔の方々はその先に阿彌陀さまのお浄土がある、あそこに往生したいと願っていた。それがお彼岸のご縁なんです。最近では、死にさえすればみんな天国やお浄土に行くと思っている人が多いようですが、「死んだらお星さまになる」といった本当でもないような話が当たり前になっているのが現代という世の中です。お浄土は阿彌陀さまが私たちを仏さまにしてくださる世界、つまり成仏させてくださるさとりの世界です。浄土真宗は必ず仏となつていける教えですが、仏になるとはどういうことでしょうか。

お釈迦さまはさとりを「涅槃寂靜」とお示くださいました。涅槃はインドの古い言葉「ニルバーナ」の音訳で、すべての炎が吹き消された状態を意味します。私たちが抱える「俺が正しい、お前が間違っている」という煩惱という炎がすべて吹き消された状態が「さとり」であり、その境地の方を仏さまと呼びます。寂靜は「シャントイ」という言葉の意訳で、英語では「ピース」、つまり平和を意味します。仏さまとは一切の争いの種を持たない究極的な平和な存在なんです。親鸞聖人の750回大遠忌のスローガンに「安穩」という言葉がありました。これは「穏やかで安らか」ということです。争いは「俺が正しい」という心から起こります。そんな私たちのありようを見抜いた上で、絶対に見捨てない、必ず救うと立ち上がって、私を安らかな仏にせしめようと届き続けているのが「南無阿彌陀仏」という仏さまなのです。

YouTube saifukuji_inweb 最新情報

| | |
|-----------|-------------|
| チャンネル登録者数 | 656 |
| チャンネル視聴回数 | 124,328 回 |
| 総再生時間 | 19,833.5 時間 |

春季彼岸会法座アーカイブ

3/3 昼席  3/3 夜席  3/4 朝席  3/4 昼席 

（2026/03/18 現在）

春季永代経法座次第

- 一、おつとめ
- 7日昼席 『仏説阿彌陀経』 夜席 『仏説阿彌陀経』
- 8日朝席 『正信念仏偈』 昼席 『正信念仏偈』
- 一、『浄土真宗の教草私の歩む道』
- 「教義」「生活」「宗門」
- 一、『聴聞の心得』
- 一、ご法話前半（約30分）
- （休憩10分）
- 一、仏教讃歌
- 『みほとけは』
- 一、ご法話後半（約30分）
- ※夜席は約40分（休憩なし）
- 一、『浄土真宗の救いのよろこび』
- 一、『恩徳讃』

れたからには必ず死ぬんで、私たちは死ぬことが当たり前前なのに、生きていて、あべこべにしながら生きています。この「生死」を繰り返すことを「流転輪廻」と言います。なぜ迷い続けるのか。その原因は自分の行い、つまり「自業自得」にあります。体と言葉と心でする行いによって私たちは迷ってきたのです。

このたび私たちは人間という境界を得ました。蓮如上人は「五戒」という5つの良い行いをした力によって人間に生まれたと教えてくださっています。しかし、今の私はどうでしょうか。生き物を殺し、嘘をつき、お酒を飲む。そんなことばかりしています。さらに「十悪」を重ね、お世辞を言い、むさぼり、腹を立て、愚痴をこぼす。自分の思いどおりにならないと、「あいつが悪い」と外側に原因を押しつける。そんな私の毎日、地獄行きと言わざるを得ません。母からお参りの時間を念押しされるだけで「わかつとるわ！」と腹

を立てる。わかつていても、やめることができない私。今、ここにいます。

そんな私を如来さまは見抜き、「この仏にまかせよ」と「南無阿弥陀仏」となっ

て届いてくださいました。私の煩惱を断絶させずとも、そのまま浄土に往生させて仏のさとりを得させる。そう誓って今の私の声となっ

てはたらいっておられるのが阿弥陀さまです。

この命が終わったとき、必ず彼岸の浄土に往生させていただけ。その教えを2500年前から、そして親鸞聖人から800年、ずっと聞き伝えられて、今ここに

あります。思いどおりにならない人生のひとつひとつの縁が調って、今、お念仏のご縁をいただけている。その喜びを味わいながらこの2日間を過ごさせていただけ

るならば、大変尊いご縁になるのでございます。

阿弥陀仏に出遇えたよろこびを全身で表現しながらのご法話でした。みなさまもぜひ法座配信で、講師の笑顔、しぐさを見ながらお

門信徒総追弔会 (春季永代経法座兼修)
4月7日 (火) 昼の席・夜の席
 2025 (令和7) 年9月から2026 (令和8) 年2月までの間に、先にお浄土に往生された方々のご遺族に、ご案内状を出させていただきました。ご家族、ご親戚でお誘い合わせてご参拝ください。



聴聞ください。

【感謝】
 仏教婦人会
 地区役員のみなさま
 美味しい手作り桜餅をお供えいただき、ありがとうございます。参拝者のみなさまと一緒に過ごさせていただきました。

仏教婦人会 地区役員総会
4月7日 (春季永代経法座併会)
 13:00 お勤め、ご法話
 法座後 総会
 2025 (令和7) 年度活動・会計報告
 2026 (令和8) 年度活動計画 その他

お経会 (大人の寺子屋)

3月18日 月例法話会
 【場 所】西福寺庫裏 (戸坂)
 【参加者】15名
 【お勤め】『正信念仏偈』『御文章』『末代無智章』『御文章 ひらがな版』144ページ
 【ご法話】『なるほど浄土真宗』より「無数の称讃のなかで」

住職近況

5月13日 東広島組下西条法中ターナ法座 (西条町寺家 正福寺)

2月16日 見真編集会議
 2月17・18日 安芸教区布教団現代布教養成研修会
 【場 所】本願寺広島別院ほか
 2月20日 開光の会 (第121) 回
 【場 所】本願寺広島別院共命ホール
 2月27日 全国布教同志会広島支部
 光道会館布教大会
 【場 所】開教部光道会館 (広島市中区猫屋町)
 3月6日 正隆寺春季彼岸会永代経法座出講 (市内西条町福本)
 3月10日 妙徳寺春季彼岸会法座出講 (市内八本松町飯田)
 3月14日 常念寺春季彼岸会永代経法座出講 (広島市中区大手町)
 3月17日 見真編集会議
 3月22日 迦羅羅塾布教大会出講 (尾道市 法光寺)
 4月13・15日 徳正寺春季永代経法座出講 (江田島市沖美町)
 4月22日 安芸教区布教団役員会
 【場 所】本願寺広島別院
 4月24日 開光の会 (第122) 回
 【場 所】本願寺広島別院共命ホール
 5月21・22日 西蓮寺降誕会法座出講 (市内志和町七条椀坂)

仏教婦人会法座にお参りください。

申し込み不要・会員以外の方もお参りできます(服装自由、念珠、聖典の貸し出しあり)。

〔会場〕西福寺本堂〔参加費〕「ご法礼」をお納めの方は帳場(受付)でお預かりします。

〔内容〕お勤め、ご法話〔備考〕椅子席をご用意しています。ご法礼(お布施)は任意、金額自由です。

4月29日(水・昭和の日)

- 09:00 朝席 おつとめ・ご法話
- 10:30 第54回初参式(10:00 受付 庫裏)
- 13:00 昼席 お勤め・ご法話
- 15:30 昼席終了予定



【講師】田阪法雄さん(東広島市安芸津町木谷 妙専寺)

1席のみ、途中入退堂OK

△初参式は、小学生未満でまだお寺にお参りしたことがない子どもさんが対象です。記念品、お弁当を準備しますので、事前にお申し込みが必要ですが、この寺報をご覧の方ならどなたでも参加できます。

4月23日(火)

- 13:00 おつとめ
- 13:40 「はじめての浄土真宗」住職が、みなさまの日ごろの疑問になんでもお答えします。

15:00 終了予定

事前のご質問はホームページの「お問い合わせ」(右のQR)へ



第54回初参式参加者お申し込みについて

(吉川地区)

仏教婦人会地区役員にお知らせください。お寺からあたためてご案内状をお送りします。

(上記以外の地区)

お寺に直接、お申し込みください。メール、LINEでも可。

生前のご苦勞を偲び 謹んで哀悼の意を表します。

倶会一処 浄土での再会を期して

感謝

ゆうちょ銀行へのご寄付 1件
YouTube配信への志 1件
いつもお心遣いいただき、有難うございます。

志

ただき、有難うございます。

永代経懇志とは、先人の残し伝えてくださったみ教えを聴聞する「聞法道場」であるお寺が、永代にわたり存続することを願ってお預けされるお布施のことです。

今を生きる私たちが、先人から受け継いだ教えに出遇うためのご縁を、後世に伝えるためのお布施です。多くは故人の遺志を継いでお預けされますが、事前にお預けくださっても構いません。

故人を永代にわたり追善供養してもらうためではありません。

永代経懇志

ご懇意、衷心感謝申し上げます。これからも、お念仏ご相続ください。

ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗淨済みのキャップをお寺に持ってきてください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしく願いいたします。





よろしく
お願い
いたします。

YouTube チャンネル 「saifukuji_inweb」



こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、「お寺に行くのはちょっと…」とためらっている。
- 最近、お寺や仏教のことが、なんとなく気になってきた。

まずは配信でご法座の
雰囲気を感じてください。

チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めや休憩時間も配信しています。お寺時間を一緒にしましょう。
- 過去のご法座もアーカイブしています。いつでもお聴聞してください。



見方はかんたん！

- ①「YouTube (ユーチューブ)」を開く。
- ②「saifukuji_inweb」または「多聞山西福寺」で検索。
- ③見たい動画を開く。
LIVE 配信中の法座は、**LIVE** マークが目印。
(任意) 登録をすると、更新情報が届きます。

ホームページでも見られます

右のQR →
ホームページ内
YouTube(法座配信)



お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

★お問い合わせ★
表表紙の電話番号
裏表紙の連絡先へ
(電話・メール・SNS)

YouTube のお聴聞
(スマホ OK)

☐通信料：視聴にはデータ通信料がかかります(Wi-Fi推奨)

「西福寺はちす墓苑」新規区画・門信徒合同墓利用者募集

〔対象〕西福寺門信徒またはご縁のある方
〔費用〕

【新規区画】永代使用 (1m × 2m) 30万円～
永代管理費別/墓石代別

【門信徒合同墓】永代納骨ひとり5万円
(4人以上20万円)

納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かりひとり1万円(1年間)
最長32年間まで。



門信徒合同墓

〔問合せ〕詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。

浄土真宗のことば入門 広辞苑編

さん・がい【三界】

①「仏」一切衆生が輪廻している3種の世界すなわち欲界・色界・無色界。衆生が活動する全世界を指す。狂言、吃り「あの男は―を家として」。「子は―の首かせ」

②(↓)二世に同じ。

③(接尾辞的に)

㊦場所の名に添えて、遠く離れている意を表す。くんだり。浄瑠璃、国性爺合戦「いつの便宜に唐―」
④時間を示す語に添えて、それが長い間である気持を表す。浮世風呂(4)「茶は土瓶で拵へりや一日―余る―」
三界に家無しさんがいにいえなし
どこにも安住すべき家がない意。「女は―」

〔広辞苑第七版〕

「三界」―不安の上に成り立つ不安定な世界

今回は、「三界」という言葉をとおして、真実の「宝」について味わいます。

金の乱高下やレアアースの奪い合い、その裏側にある採掘の健康被害。誰かの「安心」が誰かの「不安」の上に成り立つこの世界を、仏教では「三界」と呼びます。私たちは物質的な安定による精神的な安心を求めますが、それは常に書き換えられる不安定なデータのようなものです。

そうしたデータに振り回されながら「輪廻(まわりめぐり)し、苦しみや悲しみをくり返します。三界には真実の「安心」はありません。

浄土真宗のことば1 さんきえ 三帰依
略して三帰ともいう。帰依仏・帰依法・帰依僧の三。仏・法・僧の三宝に帰依すること。この三帰依は仏教徒としての必須条件である。

浄土真宗のことば2 さんぼう 三宝

梵語トゥリ・ラトナ (Tri-ratna) の意識。仏教徒として帰依し供養すべき三つの宝。すなわち仏(さとりを開いた人)・法(その教え)・僧(その教えをうけてさとりをめざす集団)のこと。

浄土真宗のことば3 ぶつ 仏

梵語ブツダ (buddha) の音訳。仏陀・浮図・浮屠とも音訳し、覚・覚者と意識する。目覚めたもの・真理をさとったもの。自らのさとりも、他をさとらしめるはたらきも完全に窮まり満ちたものこと。もとは釈尊を指す語であったが、後に阿弥陀仏など多くの仏に用いられる。如来の十号の一。また日本では「ほとけ」ともいう。

浄土真宗のことば4 ほう 法

梵語ダルマ (dharma) の意識。達磨などと音訳する。古来、それ自体の本性を保持して(任持自性)、認識や行為の軌範となる(軌生物解)という二義で解釈され、存在しているもの・事物意識の対象・教説、真理、善、善行など種々の意味で用いられている。

浄土真宗のことば5 そう 僧

僧伽の略。初期の仏教では比丘や比丘尼の集団を意味したが、中国や日本では修行者個人、あるいは仏教に帰依して教えを伝える人を指すようになった。なお、本願寺派では僧侶について宗法などに規定がある。

〔浄土真宗辞典〕本願寺出版社

親鸞聖人が見出した「真実のよろこび」と三帰依
この迷いの連鎖を断ち切るために、仏教徒が帰依するのが「三宝(仏法・僧)」です。仏は「ビジョン」、法は「メソッド」、僧は「コミュニティ」のようなものです。

親鸞聖人は、阿弥陀仏の「すべてのものを浄土に生まれさせ、さとりの身と成らせていく」との願い、誓い(ビジョン)を、自身の依りどころとし、恵信尼さまとの在家の生活、家庭生活をされ、生涯を送られました。その90年のなかには、社会情勢の混乱に巻き込まれ、経済的に苦しい時期もありました。その三界での苦悩を連鎖を断ち切る「お念仏」の教え(メソッド)を共によろこぶ「御同朋(コミュニティ)」をまとめるために、息子との縁を切るというできごともありました。私たちと同じように三界を輪廻しながらも、仏に帰依し、その教え依りどころとし、教えをよろこぶ僧伽を敬う生活をされたのです。

「三宝」に帰依し、お念仏を称えつつ「真実のよろこび」の中に生き抜かれた親鸞聖人のお姿に、多くの人々が「安心」を得ていきました。その「安心」の大きな輪のなかに、いま私も抱きとられています。

今回のまとめ

●阿弥陀仏の願いは、三界の苦悩を断ち切る「宝」

●輪廻を超えて、お念仏の「安心」の輪のなかを生きる



浄土真宗のことば入門 『正信念仏偈』 その65

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

〔浄土真宗聖典 註釈版〕願浄土真実教行証文類行文類

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大なる誓いをおこされた。

〔浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類-現代語訳〕

第7願「設我得仏 国中人天 不得天耳 不至聞 百千億那由他 諸仏所聞 不悉受持者 不取正覚」(天耳遥聞の願)

たとひわれ仏を得たらんに、國中の人天、天耳を得ずして、下百千億那由他の諸仏の説くところを聞いて、ことごとく受持せざるに至らば、正覚をとらじ

〔願浄土真実教行証文類行文類 浄土真宗聖典註釈版〕16ページ

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が天耳通を得ず、数限りない仏がたの説法を聞きとり、すべて記憶することができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

〔浄土三部経-現代語訳〕〔本願寺出版社〕

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、少なくとも百千億・百万の仏国土からでも同時に正しい理法を聞くだけの超人的な聴覚(天耳通)を持っていないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

〔浄土三部経(上)〕中村元・早島鏡正・紀野一義訳注(岩波文庫)

源左同行について貴重な話があります。さきに紹介した西田天香さんが、鳥取に講演に来ると聞いた源左同行は「真宗を捨てた人の話」と言うので、関心が沸いたのでしょう。鳥取まで遠い道を歩んで聞きに行ったそうです。開始時間を間違え、終わった所へ到着し、せめて西田先生の顔なりともと宿を訪ね、いつもの癖で「肩を揉みましょう」と西田師の肩を揉みつつ「今日は、どんな話でしたか」と聞いた。西田先生は「人生は堪忍が大事。堪忍しないと喧嘩になる。シャバという言葉も堪え忍ぶ意味だ。高齢

になると短気になる、注意したい」と話した」と要点を告げられると、源左さんは「私は堪忍できる人間ではないが、しかし今日まで無事に来たのは、いつも家内や周囲が堪忍してくれていた為であろう。いま初めて気づいた、有り難い。なまんだぶつ」と喜んだ。すると西田先生は「お爺さん、肩を揉むことを止めなさい、話した私より聞いたあなたの方が偉い」と驚いた。京都に帰り柳宗悦氏に話された所、柳氏は「田舎には、まだ素晴らしい人がいますネ」と、ラジオで源左さんを紹介されたと言います。源左さんの聞き方は、優等生の天耳です。

以上のように色々な聞き方があります。「立腹はいけない、堪忍が大事」という一つの話をして、「私には不要な話」と聞く人もあれば、「凡夫だから仕方がない」と聞く人もあり、「この話は、若い者に聞かせたい」と売り心で聞く人もいます。そして源左さんのように「自分にはできないが、周囲の者がしてくれていたのだな」と感謝する人もあります。同じ話が、耳までは同じように入りますが、私が聞く時に、さまざまに変わります。ですから聞くことは難しいのです。

ですから蓮如さまは、聞いたあと、話し合いをして、誤った自分の聞き方を直してもらった事が大事と示されています。『蓮如上人御一代記聞書』八六「物を言へ言へと仰られ候。物を申さぬものは、おそろしきと仰せられ候。物を申せば心底もきこえ、また人にも直さるるなり」の御注意を思うことです。

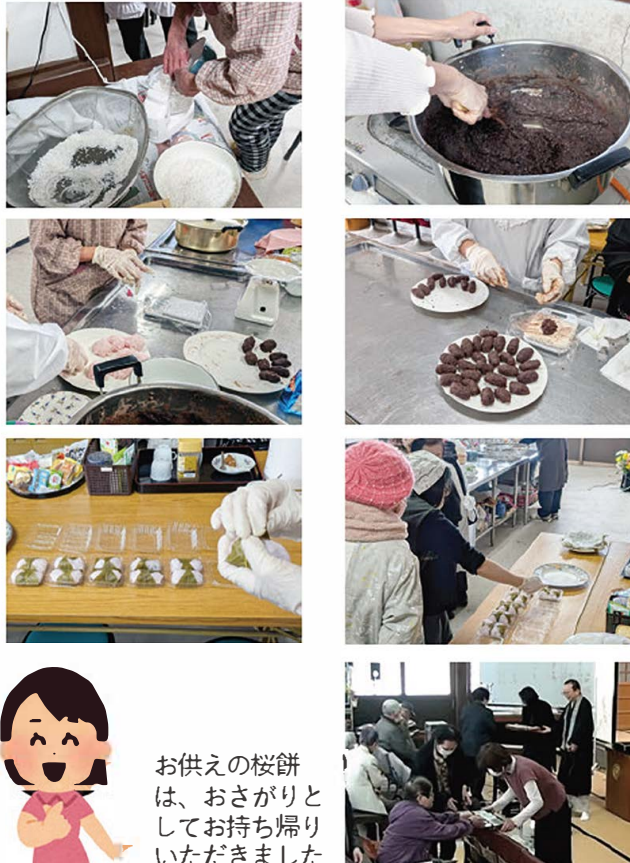
この天耳通の願いを知ると、「聞く」ことが如何に難しいことであるかと言うことに、目覚めさせられます。親鸞聖人が「聴聞」の左訓に「ユルサレテキク」と示された意味を、成る程そうであったと思うことです。

〔四十八願の浄土〕波佐間正己著〔探求社〕

どんなときも、どんな状況のなかでも、仏さまの心を聞いていけるようにしていきたいとの願いは、私のこれまでの人生を「ユルシテ」くださいます。苦しみや悲しみを積み上げてきた過去をそのまま、「お導き」をいただいていた道へと転じてくださるのです。ご縁に感謝をしていく今をいただき、「ここが仏さまの心を聞く場であった」とお聞かせいただくとき、未来もお育ての中にあると転ぜられていくのです。

Photograph Collection

桜餅づくりの様子



お供えの桜餅は、おさがりとしてお持ち帰りいただきました



春季彼岸会法座



ご法話の様子



お供えの桜餅

ゆうちょ銀行振入口座

安全面の観点から、ホームページ掲載のPDFには口座情報を載せていません。
お振込みをご希望の方は、お寺までお問い合わせください。

※寄付は随時お預かりしております。

PayPayでのお納め (本堂・庫裏内)

本堂・庫裏内では、PayPayでも「お賽銭/お布施/ご寄付」をお預かりできます。操作が不安な場合は、お気軽にお声がけください。



※ PayPay は本人確認済みのアカウントのみご利用いただけます。



左のQRを読み込んでください。

◆あなたを「評価」の鎖から解放し、孤独の闇を破り、本当の自由へと踏み出す場所として、ホームページ内に「オンライン本堂」を建立しました。あなたが悩みや不安に、住職が仏教のこゝろを添えてご返事いたします。匿名やニックネームでご相談していただけます。あなたの心の声を、そっと置いていってください。

庫裏

ご寄付について
・ご寄付は随時お預かりしております。
・個人名/団体名でのご寄付(ご寄進)をご希望の場合は、事前に住職までご相談ください。

WEB 賽銭箱

ホームページから「お賽銭/お布施/ご寄付」をお預かりできます。
(クレジットカード専用)

ホームページの「WEB賽銭箱」ページをご覧ください。



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



公式 LINE



Y